

きっかけは十人十色。
好きな作品は三者三様。
安吾に魅せられたのは皆一様。
「坂口安吾生誕祭117」を機に、
あらためて問う
あなたにとっての
坂口安吾とは！

坂口安吾生誕祭117

2023年10月20日(金)

2023
10
20

資料提供/安吾 風の館

第1部 安吾のふるさとを歩く

「安吾 風の館」見学とゆかりの地めぐり

時間 / 10:00~11:30

集合場所 / 旧市長公舎「安吾 風の館」
(新潟市中央区西大畑町5927-9 裏面地図を参照)

案内人 / 坂口綱男(写真家・坂口安吾長男)

定員 / 20人(先着・要事前申込) 参加費 / 500円(保険代含む)



申込

新潟市文化政策課(025-226-2631)へ電話で申し込む
受付期間:9月27日(水)~10月17日(火)9:00~17:00
参加を希望する全員の氏名、代表者の電話番号をお知らせください。

さらに……

- ◆安吾作品 人気投票を実施!
- ◆坂口安吾生誕記念「白痴」上映講演会開催!
詳しくは裏面をご確認ください。

第2部 映像と朗読 / 講演

時間 / 13:30~16:25(開場13:00)

会場 / りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 スタジオA
(新潟市中央区一番堀通町3-2)

定員 / 100人(先着・要事前申込) 参加費 / 無料

① 映像と朗読(13:30~14:30)

映像:安吾の会「ango」、松之山安吾の会「虚空ノ百合」 監督/梨本諦鳴
朗読:坂口安吾「信長」(抜粋) 渡邊尚子(フリーアナウンサー)



② 講演(14:45~16:25)

「わが人生の坂口安吾」

講師 / 安部龍太郎(作家)

社会、地域、学校そして家庭……自分を取り巻くものにつねに違和感があった。理想と現実の狭間、出口の見当たらない闇の中で煩悶した青春時代。安吾の『墮落論』が一筋の光となった。『生きよ墮ちよ』。墮ちることからすべてが始まる。言葉が啓示のように煌めいた。「作家としての原点は安吾」と告白する、安部龍太郎氏の渾身の「安吾論」。



申込

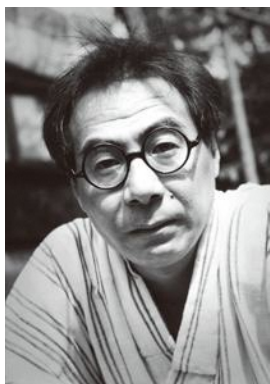
新潟市役所コールセンター(025-243-4894)へ電話で申し込む
受付期間:9月27日(水)~10月15日(日)8:00~21:00
参加を希望する全員の氏名、代表者の電話番号をお知らせください。

主催/坂口安吾生誕祭実行委員会

(安吾の会、松之山安吾の会、桐生安吾を語る会、阿賀浦コミュニティ協議会、東洋大学OB会、にいがた文化の記憶館、BSN新潟放送、新潟日报社、新潟市、新潟市芸術文化振興財団)

■お問い合わせ/坂口安吾生誕祭実行委員会事務局(新潟市文化政策課内) 025-226-2631 ※事前の予告なしにイベント内容が変更となる場合があります。

■協力/新潟・市民映画館シネウインド、鍾木酒造 ■デザイン/創造遊園地



坂口安吾

(さかぐち・あんご)

1906(明治39)年10月20日、新潟市西大畑町生まれ。旧制新潟中学から東京・豊山中学に編入学、東洋大学印度哲学倫理学科卒業。46年「墮落論」を发表、「半年のうちに世相は変わった」というメッセージが人々に衝撃を与え、一躍脚光を浴びる。以後、太宰治らと無頼派の旗手として旺盛な創作活動が続ける。日本の伝統主義や権威の欺瞞性を批判する文明批評を展開し、戦後の文学や思想に大きな影響を与えた。55年2月17日、群馬県桐生市の自宅で脳出血のため48歳で死去。主な作品に「風博士」「日本文化私観」「白痴」「桜の森の満開の下」「不連続殺人事件」「安吾巷談」「安吾新日本地理」ほか。

作家／1955年6月、福岡県八女市生まれ。久留米工業高等専門学校機械工学科卒。東京都大田区役所に就職、後に図書館司書を務める。その間に数々の新人賞に応募し、90年「血の日本史」でデビューして注目を集め、「隆慶一郎が最後に会いたがった男」という伝説が生まれた。「関ヶ原連判状」「信長燃ゆ」「迷宮の月」「家康1～8」「ふりさけ見れば」など著書多数。2005年「天馬、翔ける」で第11回中山義秀文学賞、13年「等伯」で第148回直木賞。

安部龍太郎オフィシャルサイト：
<https://aberyutarou.com/>



安部龍太郎

(あべ・りゅうたろう)



あなたにとっての安吾作品とは！どなたでもお気軽にどうぞ！ 坂口安吾作品 人気投票を実施！

坂口安吾が生涯で執筆した作品は、その数なんと600以上。同じ安吾ファンといえども好きな作品はひとりひとり違うはず。生誕祭初の試みとして、安吾作品の人気投票を実施します！

投票期間／2023年10月9日(月・祝)まで ※郵送の場合は消印有効

投票内容／必須：好きな作品(最大3作品)

任意：作品ごとの好きな理由及び好きな一節、年齢、性別

投票方法／①右記QRコードから投票



②郵送による投票(投票内容を記載し、以下の送付先に郵送)

〒951-8554(住所不要)坂口安吾生誕祭事務局(新潟市文化政策課内)

投票結果／坂口安吾デジタルミュージアム(公式ホームページ)に掲載するほか、

坂口安吾生誕祭117会場ホワイエにて掲示

※生誕祭117の入場は事前申込が必要ですが、ホワイエ内はどなたでも入れます。

※集計の都合上、任意項目は一部を抜粋して掲載する場合があります。



旧市長公舎「安吾 風の館」 企画展「安吾と囲碁」

日時／2023年9月2日～12月17日

会場／旧市長公舎「安吾 風の館」展示室
(新潟市中央区西大畑町5927-9)

入館料／無料 開館／10:00～16:00

問合せ／025-222-3062



◆ 阿賀浦コミュニティ協議会主催のイベントも注目！ ◆



坂口安吾生誕記念 「白痴」上映講演会

2023年10月13日(金)

坂口安吾の代表作「白痴」の映画上映と、実作者手塚真監督の講演。新潟とともにつくり上げた映画「白痴」の舞台裏を交えて、手塚監督が安吾の魅力を語ります。

「白痴」

HAKUCHI

日時／10月13日(金)13:30～17:00

会場／新潟市秋葉区文化会館大ホール(新潟市秋葉区新栄町4-23)

定員／300人(先着)

「白痴」上映講演会に関するお問い合わせは以下の FAX/Eメールに連絡

参加申し込み／締切：9月30日まで(消印有効)

□はがき FAX/Eメール または 右記QRコードにて
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 を記入の上、
阿賀浦コミュニティ協議会事務局まで申し込みください。



□宛先

〒956-0816 秋葉区新津東町2-5-6 新津地域学園内
阿賀浦コミュニティ協議会事務局 FAX/0250-25-7655
Eメール/agauracomiky@coral.plala.or.jp

主催／阿賀浦コミュニティ協議会 共催／坂口安吾生誕祭実行委員会



手塚 真(てづか・まこと)

ヴィジュアルリスト

1961年東京生まれ。高校時代から映画製作を始め、1985年「星くず兄弟の伝説」で監督デビュー。以後映画、テレビの監督、イベント演出、本の執筆などの創作活動を行う。1999年「白痴」がヴェネチア国際映画祭でデジタル・アワード受賞。2022年より手塚真アート映画集「Visualism」が全国公開中。著書に「父・手塚治虫の素顔」ほか。